

2020年10月8日

一般社団法人 投資信託協会
会長 松谷 博司 殿

HSBC投信株式会社
代表取締役 金子 正幸

正会員の財務状況等に関する届出書

当社の財務状況等に係る会計監査が終了いたしましたので、貴協会の定款の施行に関する規則第10条第1項第17号イの規定に基づき、下記のとおり報告いたします。

1. 委託会社等の概況

(1) 資本金の額（本書提出日現在）

| | |
|-------------------|-------------|
| 資本金 | 495百万円 |
| 発行可能株式総数 | 24,000株 |
| 発行済株式総数 | 2,100株 |
| 直近5ヶ年における資本金の額の増減 | 該当事項はありません。 |

(2) 委託会社の機構

① 会社の意思決定機構

当社業務執行の最高機関である取締役会は3名以上の取締役で構成されます。取締役の選任は株主総会において、発行済株式総数の2分の1以上にあたる株式を有する株主が出席し、その議決権の過半数をもってこれを行い、累積投票によらないものとします。

取締役の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会終結時までとし、補欠または増員のために選任された取締役の任期は、他の取締役の残存任期と同一とします。

取締役会はその決議をもって、取締役の中から代表取締役1名以上を選任します。

② 投資運用の意思決定機構

経営委員会の下部委員会として、運用本部、代表取締役、業務本部、商品企画本部、コンプライアンス部、リスク管理責任部署の代表者を主要メンバーとする「運用委員会」において、各ファンドのストラテジー、パフォーマンスおよびリスク、再委託ファンドにかかる左記事項等を協議します。

運用委員会の方針に基づいて運用本部が運用の指図を行います。

なお、運用の指図に関する権限を外部の投資顧問会社に委託すること、あるいは外部の投資顧問会社からの助言を受けることがあります。その場合には運用本部が委託状況をモニタリングします。

2. 事業の内容及び営業の概況

① 「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに、「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者（登録番号：関東財務局長（金商）第308号）として、その運用（投資運用業）を行っています。また、「金融商品取引法」に定める投資助言・代理業、第一種金融商品取引業および第二種金融商品取引業を行っています。

② 2020年7月末現在、委託会社が運用を行っている証券投資信託は以下のとおりです。

（親投資信託は、ファンド数および純資産総額の合計から除いています。）

| 基本的性格 | ファンド数 | 純資産総額 |
|-----------|-------|--------------|
| 追加型株式投資信託 | 46 | 1,162,808百万円 |
| 単位型株式投資信託 | 5 | 26,496百万円 |
| 合計 | 51 | 1,189,305百万円 |

3. 委託会社等の経理状況

- (1) 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。）第2条に基づき、財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令 第52号）により作成しております。
- (2) 当社の中間財務諸表は「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号、以下「中間財務諸表等規則」という）第38条及び第57条の規定に基づき、中間財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日 内閣府令第52号）により作成しております。
- (3) 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第35期事業年度（自2019年1月1日 至 2019年12月31日）の財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人により監査を受けております。
また、当中間会計期間（自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）の中間財務諸表については、PwCあらた有限責任監査法人により中間監査を受けております。
- (4) 財務諸表及び中間財務諸表の記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

(1) 【貸借対照表】

(単位：千円)

| | | 前事業年度 (2018年12月31日) | 当事業年度 (2019年12月31日) |
|------------|----|------------------------|------------------------|
| 資産の部 | | | |
| 流動資産 | | | |
| 現金及び預金 | ※3 | 1,494,358 | 1,772,474 |
| 前払費用 | | 1,380 | 4,984 |
| 未収入金 | | 22,780 | 26,245 |
| 未収委託者報酬 | | 1,073,629 | 1,081,813 |
| 未収運用受託報酬 | | 63,801 | 66,218 |
| 未収収益 | | 441,121 | 217,970 |
| 繰延税金資産 | | 130,526 | - |
| 流動資産合計 | | 3,227,598 | 3,169,707 |
| 固定資産 | | | |
| 有形固定資産 | | | |
| | ※1 | | |
| 建物附属設備 | | - | 1,526 |
| 器具備品 | | 0 | 390 |
| 有形固定資産合計 | | 0 | 1,917 |
| 無形固定資産 | | | |
| 商標権 | | 216 | - |
| 無形固定資産合計 | | 216 | - |
| 投資その他の資産 | | | |
| 敷金 | | 40,152 | 40,152 |
| 繰延税金資産 | | 16,339 | 167,864 |
| 投資その他の資産合計 | | 56,492 | 208,016 |
| 固定資産合計 | | 56,708 | 209,934 |
| 資産合計 | | 3,284,307 | 3,379,641 |
| 負債の部 | | | |
| 流動負債 | | | |
| 預り金 | | 465 | 265 |
| 未払金 | ※3 | 494,203 | 483,427 |
| 未払費用 | ※3 | 655,951 | 719,256 |
| 未払消費税等 | | 16,734 | 23,902 |
| 未払法人税等 | ※2 | 7,565 | 24,457 |
| 賞与引当金 | | 313,298 | 299,021 |
| 流動負債合計 | | 1,488,218 | 1,550,331 |
| 負債合計 | | 1,488,218 | 1,550,331 |
| 純資産の部 | | | |
| 株主資本 | | | |
| 資本金 | | 495,000 | 495,000 |
| 利益剰余金 | | | |
| 利益準備金 | | 123,750 | 123,750 |
| その他利益剰余金 | | | |
| 繰越利益剰余金 | | 1,177,338 | 1,210,560 |
| 利益剰余金合計 | | 1,301,088 | 1,334,310 |
| 株主資本合計 | | 1,796,088 | 1,829,310 |
| 純資産合計 | | 1,796,088 | 1,829,310 |
| 負債・純資産合計 | | 3,284,307 | 3,379,641 |

(2) 【損益計算書】

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自2018年 1月 1日 至2018年12月31日) | 当事業年度 (自2019年 1月 1日 至2019年12月31日) |
|-----------|---|---|
| 営業収益 | | |
| 委託者報酬 | 5,548,990 | 5,247,700 |
| 業務受託報酬 | 731,130 | 739,811 |
| 運用受託報酬 | 80,700 | 84,824 |
| 営業収益計 | 6,360,821 | 6,072,335 |
| 営業費用 | | |
| 支払手数料 | 2,316,045 | 2,193,577 |
| 広告宣伝費 | 48,301 | 37,475 |
| 調査費 | | |
| 調査費 | 41,212 | 41,526 |
| 委託調査費 | 1,102,124 | 1,146,084 |
| 調査費計 | 1,143,337 | 1,187,611 |
| 委託計算費 | 128,532 | 126,214 |
| 営業雑費 | | |
| 通信費 | 6,185 | 5,931 |
| 印刷費 | 45,100 | 44,628 |
| 協会費 | 15,584 | 10,630 |
| 営業雑費計 | 66,870 | 61,190 |
| 営業費用計 | 3,703,088 | 3,606,069 |
| 一般管理費 | | |
| 給料 | | |
| 役員報酬 | 114,290 | 116,321 |
| 給料・手当 | 735,431 | 814,961 |
| 退職手当 | - | 14,940 |
| 賞与引当金繰入額 | 254,381 | 265,828 |
| 給料計 | 1,104,102 | 1,212,050 |
| 交際費 | 3,209 | 3,953 |
| 旅費交通費 | 30,046 | 24,559 |
| 租税公課 | 18,535 | 17,226 |
| 不動産賃借料 | 78,697 | 91,952 |
| 固定資産減価償却費 | 100 | 318 |
| 弁護士費用等 | 38,404 | 28,182 |
| 事務委託費 | 872,948 | 920,041 |
| 保険料 | 9,539 | 4,561 |
| 諸経費 | 82,207 | 74,976 |
| 一般管理費計 | 2,237,792 | 2,377,823 |
| 営業利益 | 419,940 | 88,442 |
| 営業外収益 | | |
| その他 | - | 4 |
| 営業外収益計 | - | 4 |
| 営業外費用 | | |
| 為替差損 | 4,173 | 2,672 |

| | | |
|--------------|---------|---------|
| 雑損失 | 3,982 | 222 |
| 営業外費用計 | 8,155 | 2,894 |
| 経常利益 | 411,784 | 85,553 |
| 税引前当期純利益 | 411,784 | 85,553 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 113,379 | 73,329 |
| 法人税等調整額 | 36,814 | △20,998 |
| 当期純利益 | 261,590 | 33,221 |

(3) 【株主資本等変動計算書】

前事業年度 (自2018年1月1日 至2018年12月31日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | | 純資産合計 |
|---------|---------|---------|---------------------|-----------|-----------|-----------|
| | 資本金 | 利益剰余金 | | | 株主資本合計 | |
| | | 利益準備金 | その他利益剰余金 繰越利益剰余金 | 利益剰余金合計 | | |
| 当期首残高 | 495,000 | 123,750 | 915,748 | 1,039,498 | 1,534,498 | 1,534,498 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | - | - | - | - | - | - |
| 当期純利益 | - | - | 261,590 | 261,590 | 261,590 | 261,590 |
| 当期変動額合計 | - | - | 261,590 | 261,590 | 261,590 | 261,590 |
| 当期末残高 | 495,000 | 123,750 | 1,177,338 | 1,301,088 | 1,796,088 | 1,796,088 |

当事業年度 (自2019年1月1日 至2019年12月31日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | | 純資産合計 |
|---------|---------|---------|---------------------|-----------|-----------|-----------|
| | 資本金 | 利益剰余金 | | | 株主資本合計 | |
| | | 利益準備金 | その他利益剰余金 繰越利益剰余金 | 利益剰余金合計 | | |
| 当期首残高 | 495,000 | 123,750 | 1,177,338 | 1,301,088 | 1,796,088 | 1,796,088 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | - | - | - | - | - | - |
| 当期純利益 | - | - | 33,221 | 33,221 | 33,221 | 33,221 |
| 当期変動額合計 | - | - | 33,221 | 33,221 | 33,221 | 33,221 |
| 当期末残高 | 495,000 | 123,750 | 1,210,560 | 1,334,310 | 1,829,310 | 1,829,310 |

重要な会計方針

1 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産除く）

定額法により償却しております。なお、主な耐用年数は以下の通りです。

建物附属設備 5～15年

器具備品 3～5年

(2) 無形固定資産（リース資産除く）

定額法により償却しております。なお、主な耐用年数は以下の通りです。

2 引当金の計上基準

賞与引当金

役員及び従業員の賞与の支払に備えて、賞与支給見込額の当期負担額を計上しております。

3 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

4 その他財務諸表作成のための重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

未適用の会計基準等

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 平成30年3月30日）

「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号 平成30年3月30日）

(1) 概要

収益認識に関する包括的な会計基準であります。収益は、次の5つのステップを適用し認識されます。

ステップ1：顧客との契約を識別する。

ステップ2：契約における履行義務を識別する。

ステップ3：取引価格を算定する。

ステップ4：契約における履行義務に取引価格を配分する。

ステップ5：履行義務を充足した時に又は充足するにつれて収益を認識する。

(2) 適用予定日

2022年1月1日より適用予定であります。

(3) 当該会計基準等の適用による影響

当該会計基準等の適用による影響は、今後評価を行います。

表示方法の変更

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正（企業会計基準第28号 2018年2月16日）を当事業年度から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しました。

注記事項

(貸借対照表関係)

※1 有形固定資産の減価償却累計額は次の通りです。

| | 前事業年度 (2018年12月31日) | | 当事業年度 (2019年12月31日) | |
|--------|------------------------|----|------------------------|----|
| 建物附属設備 | 38,761 | 千円 | 38,879 | 千円 |
| 器具備品 | 11,386 | | 11,494 | |

※2 未払法人税等の内訳

| | 前事業年度 (2018年12月31日) | | 当事業年度 (2019年12月31日) | |
|-----|------------------------|----|------------------------|----|
| 法人税 | 249 | 千円 | 12,326 | 千円 |
| 事業税 | 6,822 | | 8,263 | |

| | | |
|---------|-----|-------|
| 地方法人特別税 | △21 | 1,469 |
| 住民税 | 514 | 2,398 |

※3 関係会社に対する債権及び債務

各科目に含まれているものは、次の通りです。

| | 前事業年度 (2018年12月31日) | | 当事業年度 (2019年12月31日) | |
|------|------------------------|----|------------------------|----|
| 預金 | 1,446,057 | 千円 | 1,753,195 | 千円 |
| 未払金 | 238 | | 203 | |
| 未払費用 | 104,042 | | 116,018 | |

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)

1. 発行済株式に関する事項

| 株式の種類 | 当事業年度期首 | 増加 | 減少 | 当事業年度末 |
|----------|---------|----|----|--------|
| 普通株式 (株) | 2,100 | — | — | 2,100 |

当事業年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

1. 発行済株式に関する事項

| 株式の種類 | 当事業年度期首 | 増加 | 減少 | 当事業年度末 |
|----------|---------|----|----|--------|
| 普通株式 (株) | 2,100 | — | — | 2,100 |

2. 自己株式に関する事項

両事業年度とも該当事項はありません。

3. 新株予約権等に関する事項

両事業年度とも該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

両事業年度とも該当事項はありません。

(リース取引関係)

両事業年度とも該当事項はありません。

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に関する取組方針

両事業年度とも、当社は、内部管理規程に基づき、資産の安全性及びカウンターパーティー・リスクを重視した運用を自己資金運用の基本方針としております。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

両事業年度とも、営業債権のうち、当社が設定している投資信託から受領する未収委託者報酬は、信託銀行により分別管理されているため、一般債権とは異なり、信用リスクは限定的と判断しております。未収運用受託報酬は、運用受託先ごとに期日管理及び残高管理をしており、回収期日はすべて債権発生後1年以内となっております。海外のグループ会社に対する未収収益は、関係会社ごとに期日管理及び残高管理をしております。また、営業債務である未払金、未払費用は、債務発生後1年以内の支払期日となっております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

①信用リスク（取引先の契約不履行等に係るリスク）の管理

両事業年度とも、営業債権である海外のグループ会社に対する未収収益は、担当部署が関係会社ごとに決済期日及び残高を定期的に管理し、回収懸念の早期把握を図っております。

②市場リスク（為替や金利等の変動リスク）の管理

両事業年度とも、外貨建ての債権債務に関する為替の変動リスクに関しては、個別の案件ごとに毎月残高管理を行い、原則翌月中に決算が行われることにより、リスクは限定的であると判断しております。また、金利変動によるリスクは、借入金がないため僅少であると判断しております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次の通りです。

前事業年度（2018年12月31日）

（単位：千円）

| | 貸借対照表 計上額 | 時価 | 差額 |
|--------------|--------------|-----------|----|
| (1) 預金 | 1,494,358 | 1,494,358 | — |
| (2) 未収委託者報酬 | 1,073,629 | 1,073,629 | — |
| (3) 未収運用受託報酬 | 63,801 | 63,801 | — |
| (4) 未収収益 | 441,121 | 441,121 | — |
| (5) 未収入金 | 22,780 | 22,780 | — |
| 資産計 | 3,095,692 | 3,095,692 | — |
| (1) 未払金 | 494,203 | 494,203 | — |
| (2) 未払費用 | 655,951 | 655,951 | — |
| 負債計 | 1,150,155 | 1,150,155 | — |

当事業年度（2019年12月31日）

（単位：千円）

| | 貸借対照表 計上額 | 時価 | 差額 |
|--------------|--------------|-----------|----|
| (1) 預金 | 1,772,474 | 1,772,474 | — |
| (2) 未収委託者報酬 | 1,081,813 | 1,081,813 | — |
| (3) 未収運用受託報酬 | 66,218 | 66,218 | — |
| (4) 未収収益 | 217,970 | 217,970 | — |
| (5) 未収入金 | 26,245 | 26,245 | — |
| 資産計 | 3,164,722 | 3,164,722 | — |
| (1) 未払金 | 483,427 | 483,427 | — |
| (2) 未払費用 | 719,256 | 719,256 | — |
| 負債計 | 1,202,684 | 1,202,684 | — |

注)金融商品の時価の算定方法に関する事項

資産項目 (1) 預金、(2) 未収委託者報酬、(3) 未収運用受託報酬、(4) 未収収益
(5) 未収入金

両事業年度とも、これらは全て短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

負債項目 (1) 未払金、(2) 未払費用

両事業年度とも、これらは全て短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

金銭債権の決算日後の償却予定額

前事業年度（2018年12月31日）

（単位：千円）

| | 1年以内 | 1年超 |
|----------|-----------|-----|
| 現金及び預金 | 1,494,358 | — |
| 未収委託者報酬 | 1,073,629 | — |
| 未収運用受託報酬 | 63,801 | — |
| 未収収益 | 441,121 | — |
| 未収入金 | 22,780 | — |
| 合計 | 3,095,692 | — |

当事業年度（2019年12月31日）

（単位：千円）

| | 1年以内 | 1年超 |
|----------|-----------|-----|
| 現金及び預金 | 1,772,474 | — |
| 未収委託者報酬 | 1,081,813 | — |
| 未収運用受託報酬 | 66,218 | — |
| 未収収益 | 217,970 | — |
| 未収入金 | 26,245 | — |
| 合計 | 3,164,722 | — |

（有価証券関係）

両事業年度とも、該当事項はありません。

（デリバティブ取引関係）

両事業年度とも、該当事項はありません。

（退職給付関係）

両事業年度とも、該当事項はありません。

（ストック・オプション等関係）

両事業年度とも、該当事項はありません。

（持分法損益等）

両事業年度とも、該当事項はありません。

（資産除去債務関係）

両事業年度とも、重要性がないため、記載を省略しております。

（セグメント情報等）

1. セグメント情報

両事業年度とも、当社は投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 関連情報

（1）サービスごとの情報

前事業年度（自 2018年1月1日 至 2018年12月31日）

（単位：千円）

| | 委託者報酬 | 業務受託報酬 | 運用受託報酬 | 合計 |
|-----------|-----------|---------|--------|-----------|
| 外部顧客への売上高 | 5,548,990 | 731,130 | 80,700 | 6,360,821 |

当事業年度（自 2019年1月1日 至 2019年12月31日）

（単位：千円）

| | 委託者報酬 | 業務受託報酬 | 運用受託報酬 | 合計 |
|-----------|-----------|---------|--------|-----------|
| 外部顧客への売上高 | 5,247,700 | 739,811 | 84,824 | 6,072,335 |

(2) 地域ごとの情報

①営業収益

前事業年度（自 2018年1月1日 至 2018年12月31日）

（単位：千円）

| 日本 | その他 | 合計 |
|-----------|---------|-----------|
| 5,629,691 | 731,130 | 6,360,821 |

当事業年度（自 2019年1月1日 至 2019年12月31日）

（単位：千円）

| 日本 | その他 | 合計 |
|-----------|---------|-----------|
| 5,332,524 | 739,811 | 6,072,335 |

②有形固定資産

両事業年度とも、本邦の所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の全ての金額です。地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

両事業年度とも、対象となる外部顧客への営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

なお、制度上顧客情報を知りえない、または顧客との守秘義務により開示できない営業収益については、判定対象から除いております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

両事業年度とも、該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

両事業年度とも、該当事項はありません。

5. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

両事業年度とも、該当事項はありません。

(税効果会計関係)

1. 繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳

| | 前事業年度 (2018年12月31日) | 当事業年度 (2019年12月31日) |
|------------|------------------------|------------------------|
| 繰延税金資産 | | |
| 減価償却の償却超過額 | 16,339 千円 | 26,934 千円 |
| 未払費用否認 | 32,512 千円 | 46,388 千円 |
| 賞与引当金否認 | 95,931 千円 | 91,560 千円 |
| 未払事業税等 | 2,082 千円 | 2,980 千円 |
| 繰延税金資産の合計 | 146,865 千円 | 167,864 千円 |

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

| | 前事業年度 (2018年12月31日) | 当事業年度 (2019年12月31日) |
|----------------------|------------------------|------------------------|
| 法定実効税率 (調整) | 30.8 % | 30.6 % |
| 評価性引当額 | - % | - % |
| 住民税均等割 | 0.2 % | 1.1 % |
| 役員賞与等永久に損金に算入されない項目 | 5.2 % | 29.5 % |
| 事業税段階税率端数調整 | △0.0 % | △0.0 % |
| 税率変更による期末繰延税金資産の減額修正 | 0.2 % | - % |
| 税効果会計適用後の法人税等の負担率 | 36.4 % | 61.2 % |

(関連当事者との取引)

1 関連当事者との取引

(ア) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主等

前事業年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)

| 種類 | 会社等の名称 | 所在地 | 資本金又は 出資金 | 事業の 内容又は 職業 | 議決権行 使等の被 所有者割 合 | 関連当事者 との関係 | 取引の内容 | 取引金額 (千円) | 科目 | 期末残高 (千円) |
|-----|---|-----|-------------------|-------------------|---------------------------|-------------------------------------|----------|--------------|------|--------------|
| 親会社 | The Hongkong and Shanghai Banking Corporation, Limited *3 | 香港 | 116,102百万 香港ドル | 銀行業 | 直接 100% | 資金の預金・ 販売委託契約 ・事務委託・ 役員の兼任 | *1 資金の預入 | ※ | 預 金 | 1,446,057 |
| | | | | | | | *2 事務委託等 | 670,607 | 未払費用 | 104,042 |

当事業年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

| 種類 | 会社等の名称 | 所在地 | 資本金又は 出資金 | 事業の 内容又は 職業 | 議決権行 使等の被 所有者割 合 | 関連当事者 との関係 | 取引の内容 | 取引金額 (千円) | 科目 | 期末残高 (千円) |
|-----|---|-----|-------------------|-------------------|---------------------------|--------------------------|----------|--------------|------|--------------|
| 親会社 | The Hongkong and Shanghai Banking Corporation, Limited *3 | 香港 | 116,102百万 香港ドル | 銀行業 | 直接 100% | 資金の預金・ 事務委託・ 役員の兼任 | *1 資金の預入 | ※ | 預 金 | 1,753,195 |
| | | | | | | | *2 事務委託等 | 738,618 | 未払費用 | 116,018 |

上記金額のうち、人件費など一部の取引金額には消費税が含まれておりませんが、その他の取引金額及び期末残高には消費税が含まれております。

※ 日常業務に関わる資金の出入りであるため、取引金額の記載を行っておりません。

取引条件及び取引条件の決定方針

*1 全額当座預金であり、無利息となっております。

*2 当該会社とのコスト・アロケーション・ポリシーに基づき、予め定められた料率並びに計算方法で計算された金額を支払っております。

*3 当該会社との取引は、The Hongkong and Shanghai Banking Corporation, Limited の東京支店に対するものです。

(イ) 財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等及び財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等

前事業年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)

| 種類 | 会社等の名称 | 所在地 | 資本金又は 出資金 | 事業の 内容又は 職業 | 議決権 行使等 | 関連当事者 との関係 | 取引の内容 | 取引金額 (千円) | 科目 | 期末残高 (千円) |
|----|--------|-----|--------------|-------------------|------------|---------------|-------|--------------|----|--------------|
|----|--------|-----|--------------|-------------------|------------|---------------|-------|--------------|----|--------------|

| | | | | | | | | | | |
|-------------|---|--------------|--------------|-------|---------|--------------------------|-------------|-----------|------|---------|
| | | | | 業 | の被所有者割合 | | | | | |
| 同一の親会社を持つ会社 | HSBC Global Asset Management Ltd | 英国 ロンドン | 166,275千ポンド | 投資運用業 | なし | 事務委託等 | *2 事務委託 | 120,525 | 未払費用 | 31,783 |
| 同一の親会社を持つ会社 | HSBC Global Asset Management (HK) Ltd | 香港 | 240,000千香港ドル | 投資運用業 | なし | 事務委託・投資運用契約・業務委託契約・役員の兼任 | *5 業務受託報酬 | 247,250 | 未収収益 | 178,536 |
| | | | | | | | *1 支払投資運用報酬 | 494,064 | 未払費用 | 289,528 |
| | | | | | | | *2 事務委託 | 62,284 | | |
| 同一の親会社を持つ会社 | HSBC Global Asset Management (FRANCE) | フランス パリ | 8,050千ユーロ | 投資運用業 | なし | 投資運用契約・業務委託契約 | *5 業務受託報酬 | 427,688 | 未収収益 | 213,332 |
| 同一の親会社を持つ会社 | HSBC Global Asset Management (UK) Ltd | 英国 ロンドン | 178,103千ポンド | 投資運用業 | なし | 投資運用契約 | *1 支払投資運用報酬 | 511,762 | 未払費用 | 184,373 |
| 同一の親会社を持つ会社 | HSBC Services Japan Limited *3 | バハマ | 5千米ドル | サービス業 | なし | 事務委託等 | 人件費・事務所賃借料等 | 1,056,120 | | |
| 同一の親会社を持つ会社 | HSBC Securities (Japan) Limited *4 | 英国 ロンドン | 102,346千ポンド | 証券業 | なし | 販売委託契約・事務委託・役員の兼任 | *2 事務委託等 | 12,320 | | |
| 同一の親会社を持つ会社 | HSBC Global Asset Management (USA) Inc. | 米国 ニューヨーク | 1,002米ドル | 投資運用業 | なし | 投資運用契約 | *1 支払投資運用報酬 | 82,785 | 未払費用 | 19,909 |
| 同一の親会社を持つ会社 | HSBC Investment Funds (Hong Kong) Limited | 香港 | 21,000千香港ドル | 投資運用業 | なし | 業務委託契約 | *5 業務受託報酬 | 26,363 | 未収収益 | 22,704 |
| 同一の親会社を持つ会社 | HSBC Global Asset Management (Deutschland) GmbH | ドイツ デュッセルドルフ | 2,600千ユーロ | 投資運用業 | なし | 投資運用契約・業務委託契約 | *5 業務受託報酬 | 29,014 | 未収収益 | 23,005 |

当事業年度（自 2019年1月1日 至 2019年12月31日）

| 種類 | 会社等の名称 | 所在地 | 資本金又は出資金 | 事業の内容又は職業 | 議決権行使等の被所有者割合 | 関連当事者との関係 | 取引の内容 | 取引金額(千円) | 科目 | 期末残高(千円) |
|-------------|--|---------|--------------|-----------|---------------|--------------------------|-------------|----------|------|----------|
| 同一の親会社を持つ会社 | HSBC Global Asset Management Limited | 英国 ロンドン | 166,275千ポンド | 投資運用業 | なし | 事務委託等 | *2 事務委託 | 113,838 | 未払費用 | 88,641 |
| 同一の親会社を持つ会社 | HSBC Global Asset Management (Hong Kong) Limited | 香港 | 240,000千香港ドル | 投資運用業 | なし | 事務委託・投資運用契約・業務委託契約・役員の兼任 | *5 業務受託報酬 | 176,187 | 未収収益 | 88,348 |
| | | | | | | | *1 支払投資運用報酬 | 461,446 | 未払費用 | 251,360 |
| | | | | | | | *2 事務委託 | 60,369 | | |
| 同一の親会社を持つ会社 | HSBC Global Asset Management (FRANCE) | フランス パリ | 8,050千ユーロ | 投資運用業 | なし | 業務委託契約 | *5 業務受託報酬 | 401,481 | 未収収益 | 106,738 |
| 同一の親会社を持つ会社 | HSBC Global Asset Management (UK) Ltd | 英国 ロンドン | 178,103千ポンド | 投資運用業 | なし | 投資運用契約 | *1 支払投資運用報酬 | 543,998 | 未払費用 | 188,305 |

| | | | | | | | | | | |
|-------------|---|-------------|-----------|-------|----|---------------|-------------|-----------|------|--------|
| 同一の親会社を持つ会社 | HSBC Services Japan Limited *3 | バハマ | 5千米ドル | サービス業 | なし | 事務委託等 | 人件費・事務所賃借料等 | 1,136,115 | 未払費用 | 12,992 |
| 同一の親会社を持つ会社 | HSBC Global Asset Management (USA) Inc. | 米国ニューヨーク | 1,002米ドル | 投資運用業 | なし | 投資運用契約 | *1 支払投資運用報酬 | 64,555 | 未払費用 | 11,077 |
| 同一の親会社を持つ会社 | HSBC Global Asset Management (Deutschland) GmbH | ドイツデュッセルドルフ | 2,600千ユーロ | 投資運用業 | なし | 投資運用契約・業務委託契約 | *5 業務受託報酬 | 30,431 | | |
| | | | | | | | *1 支払投資運用報酬 | 18,120 | | |

上記金額のうち、一部の取引金額及び期末残高には消費税が含まれております。

取引条件及び取引条件の決定方針

- *1 当該会社との投資運用契約に基づき、予め定められた料率で計算された金額を支払っております。
- *2 当該会社とのパフォーマンス・レベル・アグリーメントに基づき、予め定められた料率並びに計算方法で計算された金額を支払っております。
- *3 当該会社との取引は、HSBC Services Japan Limited の東京支店に対するものです。
- *4 当該会社との取引は、HSBC Securities (Japan) Limited の東京支店に対するものです。
- *5 当該会社とのパフォーマンス・レベル・アグリーメントに基づき、予め定められた料率並びに計算方法で計算された金額を受け取っております。

2 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

The Hongkong and Shanghai Banking Corporation, Limited (非上場)

(1株当たり情報)

| | 前事業年度 (自2018年1月1日 至2018年12月31日) | 当事業年度 (自2019年1月1日 至2019年12月31日) |
|---|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1株当たり純資産額 | 855,280.31円 | 871,100.23円 |
| 1株当たり当期純利益 | 124,566.69円 | 15,819.92円 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。 | | |

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りです。

| | 前事業年度 (自2018年1月1日 至2018年12月31日) | 当事業年度 (自2019年1月1日 至2019年12月31日) |
|-------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 当期純利益 (千円) | 261,590 | 33,221 |
| 普通株主に帰属しない金額 (千円) | — | — |
| 普通株式に係る当期純利益 (千円) | 261,590 | 33,221 |
| 普通株式の期中平均株式数 (株) | 2,100 | 2,100 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

中間財務諸表

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

当中間会計期間末
(2020年 6月30日)

| | | |
|------------|--|-----------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 預金 | | 1,553,302 |
| 前払費用 | | 2,821 |
| 未収入金 | | 24,954 |
| 未収委託者報酬 | | 882,713 |
| 未収運用受託報酬 | | 24,285 |
| 未収収益 | | 261,771 |
| 流動資産合計 | | 2,749,849 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | *1 |
| 建物付属設備 | | 1,471 |
| 器具備品 | | 340 |
| 有形固定資産合計 | | 1,812 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金 | | 40,152 |
| 繰延税金資産 | | 158,732 |
| 投資その他の資産合計 | | 198,884 |
| 固定資産合計 | | 200,697 |
| 資産合計 | | 2,950,546 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 預り金 | | 819 |
| 未払金 | | 384,825 |
| 未払費用 | | 636,763 |
| 未払消費税等 | | 9,766 |
| 未払法人税等 | | 6,592 |
| 賞与引当金 | | 126,747 |
| 流動負債合計 | | 1,165,515 |
| 負債合計 | | 1,165,515 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | | 495,000 |
| 利益剰余金 | | |
| 利益準備金 | | 123,750 |
| その他利益剰余金 | | |
| 繰越利益剰余金 | | 1,166,280 |
| 利益剰余金合計 | | 1,290,030 |
| 株主資本合計 | | 1,785,030 |
| 純資産合計 | | 1,785,030 |
| 負債・純資産合計 | | 2,950,546 |

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

| | 当中間会計期間 (自 2020年 1月 1日 至 2020年 6月30日) |
|--------------|---|
| 営業収益 | |
| 委託者報酬 | 2,254,049 |
| 業務受託報酬 | 355,410 |
| 運用受託報酬 | 44,981 |
| 営業収益計 | 2,654,441 |
| 営業費用 | |
| 支払手数料 | 933,419 |
| 広告宣伝費 | 12,521 |
| 調査費 | |
| 調査費 | 21,298 |
| 委託調査費 | 501,072 |
| 調査費計 | 522,371 |
| 委託計算費 | 61,197 |
| 営業雑費 | |
| 通信費 | 3,053 |
| 印刷費 | 17,439 |
| 協会費 | 5,069 |
| 営業雑費計 | 25,562 |
| 営業費用計 | 1,555,071 |
| 一般管理費 | |
| 給料 | |
| 役員報酬 | 55,481 |
| 給料・手当 | 410,026 |
| 賞与引当金繰入額 | 86,073 |
| 給料計 | 551,581 |
| 交際費 | 548 |
| 旅費交通費 | 5,376 |
| 租税公課 | 8,417 |
| 不動産賃借料 | 47,829 |
| 固定資産減価償却費 | 104 |
| 弁護士費用等 | 12,080 |
| 事務委託費 | 485,646 |
| 保険料 | 2,372 |
| 諸経費 | 26,128 |
| 一般管理費計 | 1,140,087 |
| 営業損失 (△) | △40,717 |
| 営業外収益 | |
| 為替差益 | 6,044 |
| 営業外収益計 | 6,044 |
| 經常損失 (△) | △34,672 |
| 税引前中間純損失 (△) | △34,672 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 475 |
| 法人税等調整額 | 9,131 |
| 中間純損失 (△) | △44,279 |

(3) 中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間（自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | | 純資産合計 |
|-----------|---------|---------|-----------------------------|-------------|------------|-----------|
| | 資本金 | 利益剰余金 | | | 株主資本 合計 | |
| | | 利益準備金 | その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金 | 利益剰余金 合計 | | |
| 当期首残高 | 495,000 | 123,750 | 1,210,560 | 1,334,310 | 1,829,310 | 1,829,310 |
| 当中間期変動額 | | | | | | |
| 中間純損失（△） | - | - | △44,279 | △44,279 | △44,279 | △44,279 |
| 当中間期変動額合計 | - | - | △44,279 | △44,279 | △44,279 | △44,279 |
| 当中間期末残高 | 495,000 | 123,750 | 1,166,280 | 1,290,030 | 1,785,030 | 1,785,030 |

重要な会計方針

1 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産除く）

定額法により償却しております。なお、主な耐用年数は以下の通りです。

建物附属設備 5～15年

器具備品 3～5年

(2) 無形固定資産（リース資産除く）

定額法により償却しております。なお、主な耐用年数は以下の通りです。

商標権 10年

2 引当金の計上基準

賞与引当金

役員及び従業員の賞与の支払に備えて、賞与支給見込額の当中間会計期間負担額を計上しております。

3 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、中間決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

4 その他財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

注記事項

(中間貸借対照表関係)

| 当中間会計期間末（2020年 6月30日現在） | |
|----------------------------|----------|
| ※1 有形固定資産の減価償却累計額は以下の通りです。 | |
| 建物附属設備 | 38,934千円 |
| 器具備品 | 10,675千円 |

(中間株主資本等変動計算書関係)

当中間会計期間（自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）

1 発行済株式に関する事項

| 株式の種類 | 当事業年度 期首 | 増 加 | 減 少 | 当中間会計 期間末 |
|-------|-------------|-----|-----|--------------|
| 普通株式 | 2,100 | — | — | 2,100 |

2 自己株式に関する事項
該当事項はありません。

3 新株予約権等に関する事項
該当事項はありません。

4 配当に関する事項
該当事項はありません。

(リース取引関係)
該当事項はありません。

(金融商品関係)
金融商品の時価等に関する事項

2020年6月30日における中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

| | 中間貸借対照表 計上額 | 時価 | 差額 |
|--------------|----------------|-----------|----|
| (1) 預金 | 1,553,302 | 1,553,302 | — |
| (2) 未収委託者報酬 | 882,713 | 882,713 | — |
| (3) 未収運用受託報酬 | 24,285 | 24,285 | — |
| (4) 未収収益 | 261,771 | 261,771 | — |
| (5) 未収入金 | 24,954 | 24,954 | — |
| 資産計 | 2,747,027 | 2,747,027 | — |
| (1) 未払金 | 384,825 | 384,825 | — |
| (2) 未払費用 | 636,763 | 636,763 | — |
| 負債計 | 1,021,589 | 1,021,589 | — |

注) 金融商品の時価の算定方法に関する事項

資産項目 (1) 預金、(2) 未収委託者報酬、(3) 未収運用受託報酬、(4) 未収収益、(5) 未収入金
これらは全て短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿
価額によっております。

負債項目 (1) 未払金、(2) 未払費用

これらは全て短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿
価額によっております。

(有価証券関係)
該当事項はありません。

(デリバティブ取引関係)
該当事項はありません。

(退職給付関係)
該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(資産除去債務関係)

重要性がないため、記載を省略しております。

(セグメント情報等)

当中間会計期間 (自 2020年 1月 1日 至 2020年 6月30日)

1. セグメント情報

当社は投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 関連情報

(1) サービスごとの情報

外部顧客への売上高

(単位：千円)

| 委託者報酬 | 業務受託報酬 | 運用受託報酬 | 合計 |
|-----------|---------|--------|-----------|
| 2,254,049 | 355,410 | 44,981 | 2,654,441 |

(2) 地域ごとの情報

① 営業収益

(単位：千円)

| 日本 | その他 | 合計 |
|-----------|---------|-----------|
| 2,299,030 | 355,410 | 2,654,441 |

② 有形固定資産

本邦の所在している有形固定資産の金額が中間貸借対照表の有形固定資産の全ての金額ですので地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

対象となる外部顧客への営業収益のうち、中間損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

なお、制度上顧客情報を知りえない、または顧客との守秘義務契約により開示できない営業収益については、判定対象から除いております。

(一株当たり情報)

| 当中間会計期間 (自 2020年 1月 1日 至 2020年 6月30日) | |
|---|-------------|
| 1株当たり純資産額 | 850,014.65円 |
| 1株当たり中間純損失金額(△) | △21,085.57円 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり中間純損失金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり中間純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

| | 当中間会計期間 (自 2020年 1月 1日 至 2020年 6月30日) |
|----------------------|---|
| 中間純損失(△) (千円) | △44,279 |
| 普通株式に係る中間純損失(△) (千円) | △44,279 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 2,100 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

公開日 2020年10月13日
作成基準日 2020年8月28日

本店所在地 東京都中央区日本橋三丁目11番1号
お問い合わせ先 投信営業本部

独立監査人の監査報告書

2020年2月28日

HSBC投信株式会社
取締役会御中

PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 大畑 茂
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているHSBC投信株式会社の2019年1月1日から2019年12月31日までの第35期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、HSBC投信株式会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

独立監査人の中間監査報告書

2020年8月28日

H S B C 投信株式会社

取締役会御中

P w C あらた有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大畑 茂

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているH S B C 投信株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの第36期事業年度の中間会計期間（2020年1月1日から2020年6月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、H S B C 投信株式会社の2020年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（2020年1月1日から2020年6月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。